

妻有のきずな

十日町市農業委員会だより

昨年11月30日(日)に「農業女性フォーラム」が千手コミュニティセンターで開催され、農業分野における多様性と持続可能な発展を目指すことを目的に、事例発表やワークショップ等が行われました。

この企画は、女性農業者の活動を多くの人に知ってもらい、新たに取り組む方達の背中を後押しすることを目的に、地元農業関係者有志により2024年から始まりました。

今年も十日町総合高校で農業を学ぶ3年生のほか、「千年の市企業組合じろばた」の北村フミ子さん、平野八重子さん、津南町で農家民宿を営む尾池三佐子さん、women farmers japan(株)代表 佐藤友美さんが登壇しましたが、それぞれが行う地域での取り組みは参加者の注目を集め、会場は熱気に溢れていました。

農業女性フォーラム

in 越後妻有

未来は、自分たちの手でつくれる！

未来につながる
稼げて暮らせて魅力ある



年頭のご挨拶



会長
村山 隆義

向春の候、皆様におかれましては穏やかな年明けを迎え、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。さて昨年は米の仮渡金の高騰で令和の米騒動がおさまらないといった状況でしたが、最近はその需給も落ち着き令和7年産の米の動きが悪くなってきました。物価高騰の中、さらなるコスト削減や、園芸作物の導入など複合化による農業経営の安定が求められてきています。今年には委員改選の年になりますが、引き続き皆様のご理解ご協力をお願いするとともに、皆様にとって穏やかで実り多き一年となることをご祈念申し上げます。

令和7年永年勤続表彰委員

新潟県農業委員会大会（11/5 朱鷺メッセ）において、農業委員・農地利用最適化推進委員の永年勤続表彰がありました。

農業委員 勤続 25 年以上

佐藤 三代治 農業委員（十日町地域）

農業委員・農地利用最適化推進委員 勤続 20 年以上

相澤 成一 推進委員（松之山地域）

村山 隆義 農業委員（十日町地域）



Topics

農業委員の活動がわかる！
トピックス

上中越地区の合同研修会に参加しました



藏品 茂昭

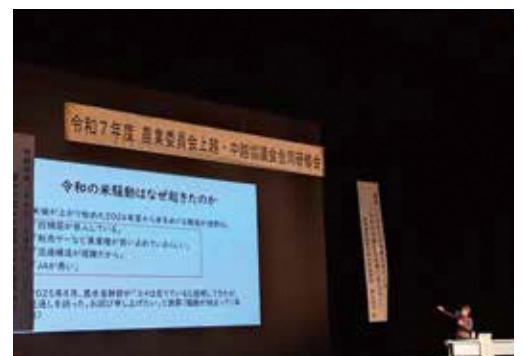
農地利用最適化推進委員（川西地域）

11月20日(木)に段十ろうにおいて、農業委員会上越地区協議会、中越協議会による合同研修会が開催されました。コメ価格の高騰が連日報道されて世間の関心も高い中で、中央の情勢や今後の展望についての知見を得ようと、多くの委員が参加して講師の説明に熱心に聞き入っていました。

最初に、新潟食料農業大学大学院教授の青山浩子様より『これからの地域活性化とは ～令和の米騒動を契機に考える～』と題した講演がありました。学生アンケートを読み解くことで、令和の米騒動によって米や農業に対する関心は高まったものの、農業を応援したいと考える若者や一般消費者の視点からは、**農業者サイドから発信される情報が極端に少ないため、農業の意義や価値に対する理解が深まらない問題**があることを知りました。

農産物の購入や農村への往来につながる取り組みを行っている地域もありますが、その数は少数であること、また、今後の展望として**農家が主体的に地域一体で取り組みをするかどうかで地域農業のあり方が大きく左右される**といった内容でした。

令和の米騒動と言われる混乱を契機に、食料・農業・農村に関する情勢や国の方針にも大きな変化が生じようとしています。バブルと言われるほど跳ね上がったコメ価格は、今後どうなるのか。それが農家、農村にどう影響するのか。多くの農家が不安を抱える中で、農業委員、農地利用最適化推進委員として、最新の情報や知見を得るために大変有意義な合同研修会となりました。





あなたも 地域農業のために 活動してみませんか

令和8年7月19日をもって、現農業委員、農地利用最適化推進委員の任期が満了することに伴い、**次期委員の募集**を行います。

	農業委員	農地利用最適化推進委員
任期	令和8年7月20日から令和11年7月19日まで	令和8年7月下旬の委嘱日から令和11年7月19日まで
募集人数	24名 (委員の過半数が認定農業者であること)	33名以内 地区別定数 十日町1名、川治3名、中条4名、 下条2名、吉田2名、水沢5名、 川西5名、中里5名、松代3名、松之山3名
身分	十日町市の特別職の非常勤職員 (地方公務員法第3条第3項第2号及び農業委員会等に関する法律第4条第2項に基づく)	
応募資格	十日町市に住所を有し、農業に関する見識を持ち、農地等の利用の最適化の推進や担い手への農地利用の集積・集約化、その他の農業委員会の職務を適切に行うことができる方。	十日町市に住所を有し、農地等の利用の最適化推進に熱意と識見を有する方で、担当区域内において、その推進のため積極的に活動ができる方。
	ただし、次のいずれにも該当しないこと。 1. 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ていない者 2. 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者、 又はその執行を受けることがなくなるまでの者	
報酬(月額)	会長 60,500円 会長職務代理 36,800円 委員 35,200円	委員 32,500円
応募期間	令和8年2月16日(月)～3月23日(月) 必着	

農業委員の主な業務

- 毎月の総会に出席し、農地の権利移動や転用許可について審議
- 農地等の利用の最適化の推進に関する指針や市の農業施策に関する意見書を作成
- 農地利用最適化推進委員と協力し、農地の現地調査等を実施 など

農地利用最適化推進委員の主な業務

- 農業委員会が定めた区域における、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消等の活動
- 地域計画の実現に向けた取り組みや話し合いへの参加
- 農地の権利移動や転用にかかる現地調査を行い、農業委員会総会等に参加し意見を述べる など

応募方法・提出先

所定の届出書に必要事項を記入して提出。届出書は、農業委員会事務局及び各支所の農業委員会事務所に備えてあります。また、十日町市ホームページの農業委員会事務局のサイトからダウンロードできます。

【提出先】十日町市役所農業委員会事務局又は各支所の農業委員会事務所

【郵送の場合】〒948-8501 十日町市千歳町3丁目3番地 十日町市農業委員会事務局 宛

「令和8年度の農作業標準賃金及び賃借料情報」は、令和8年3月上旬にお知らせする予定です。

農業委員会事務局(市役所2階)、各支所の農業委員会事務所で配布するほか、市役所ホームページの農業委員会事務局サイトからもダウンロードできます。

午年うまれの年男からひとこと



岩田 稔

農業委員（中条地区）

1期目の任期も残り僅かになりました。主に新座大井田地区を担当しております。6度目の年男で体力の衰えは致し方ありません。気持ちだけは若くありたいと春から秋は野良仕事で冬はスキーで体力維持に努めています。令和のコメ騒動は農業の未来にどう影響するのか私には分かりません。米価が問題視されていますが、価格は以前との比較だけではなく他の食品や飲料などとの価値で考えるべきではないでしょうか。

また、自分の子や孫が、生計を立てられる職業の選択肢から外さなければならないような米価格では、米農家の減少も避けられないと思います。農道や水路の維持管理などで条件不利農地の多い日本では、大規模化だけではなく小規模農家も生かす政策が必要だと思います。



村山 太郎

農業委員（水沢地区）

十日町市農業委員に就任してから、まもなく3期9年が終わろうとしています。

当初は「1期3年でも長い」と感じていましたが、振り返ればあっという間でした。

私の住む水沢地域も、他の地域と同様に高齢化が進み、担い手不足が加速しています。

しかし、「地域計画」の話し合いで各集落の皆さんとお話をすると、前向きなご意見が多く大変参考になっています。まずは、ぜひ話し合いの場に参加していただきたいと思います。すぐに状況が改善するとは言えませんが、それが確実な第一歩になります。

近年は米価が上がり、以前より農業への関心も高まっています。農業がより魅力あるものとなるよう、これからも力を尽くしてまいります。今後ともご協力をよろしく願いいたします。

編集後記

昨年は、令和の米騒動と言われ、米農家の皆様は売上が伸びて喜ばしいことかと思えば、米離れや在庫過多等の話もあり手放しに喜べないような一年でした。

年々、価格や天候などの予想が難しくなっています。考える事が多くなると思わぬ事故などに遭うかもしれません。あせらず準備を念入りに、また一年身体に気を付けて楽しみながら農業をしていただければと思います。（推進委員 内山 浩樹）



吉楽 一馬

農地利用最適化推進委員（中里地域）

現在、十日町市においても農業を取り巻く情勢は非常に厳しいものがあります。担い手不足や耕作放棄地の増加、さらには生産資材の高騰や異常気象など、課題は山積しております。こうした難局を乗り越えるためには、未来を見据えた「農地利用の最適化」の推進が不可欠です。

現場に近い存在の推進委員として、農業者の皆様の声を真摯に伺い、時には行動力を発揮して地域を駆け巡り、丁寧な話し合いを通じて解決策を模索したいと思っております。

農業委員会の皆様や関係機関と「馬が合う」連携を密に取りながら、持続可能な力強い地域農業の実現に向け職務に専念いたしますので、皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。



村山 浩一

農業委員（松之山地域）

本年、私は41年生まれの年男を迎えました。干支の午は、力強く働き、時に人を乗せて駆ける頼もしい存在です。畑で汗を流す日々の中、「馬のようにコツコツ働き、時には駆け足で挑戦!」と自分に言い聞かせています。作物に負けないよう、今年も走り続けたいと思います。

農業委員会では仲間と話し合いを重ね、土地の使い方や作付け、後継者育成や環境保全について語り合っています。意見がぶつかることもありますが、笑い合いながら進める話し合いこそ、地域全体の「目標地図」を描く力になるのだと感じます。

年男の節目にあたり、健康を大切にしながら、この地図を仲間と共に描き、市民の皆さまと歩んでまいります。皆さまにとって、笑顔あふれる一年となりますよう心よりお祈りいたします。